

## 10月12日 | 地元の伝統を受け継ぐ舞

江戸時代から伝わる「おせん女踊り」が、旧初天王神社秋祭りで奉納されました。この踊りは、かつて機織りをしていた娘「お仙」が、旅人の労をねぎらい、地元のお茶でもてなした姿を表現したものです。

今年は、初倉小学校の女子児童20人が踊りを披露。色鮮やかな花笠と振り袖を身にまとった児童たちのかわいらしいぐさは、来場者の目を引きつけていました。



## 10月23日 | 地震の恐さを体で覚える

島田消防署で、島田地区の保育園・幼稚園の園児たちが、地震が発生した際の身の守り方などを学びました。

この起震車体験は、消防クラブに加入している園が毎年実施しているものです。子どもたちは、消防署員から注意点などの説明を聞いた後、車に乗り込んで震度5～7の揺れを体感。揺れが次第に強まると、どの子も頭を守って机にもぐり、真剣な表情で机の脚にしがみついていた。

## 10月18日 | 楽しく学ぶ「くらしと環境」

プラザおおりを会場に「くらし・消費・環境展2014」が開催されました。

「くらしのフェア」と「環境フェア」を統合して初めての開催となる今回は、楽しみながら考えてもらう体験型のブースを数多く設置。手回し式発電機でLEDと電球の光り方の比較に挑戦した子は「LEDを光らせる方が楽ちん」と、その違いを実感していました。





## 10月23日 | スポーツで広がる友の輪

総合スポーツセンター「ローズアリーナ」を会場に、「島田市いきいきクラブスポーツ大会」が開かれました。

大会には、80歳代を中心に約730人の高齢者が参加。地区ごとの対抗戦ということもあり、楽しみながらも一生懸命、競技に臨んでいました。参加者からは、「他の地区の人とも仲良くなれて良かった」「今日は元気な自分へのご褒美」など、多くの喜びの声が聞かれました。

## 10月9日 | 看護の道を再び歩むために

市民病院で、育児などで医療現場を離れていた看護師の復帰を支援する「再就業準備研修会」が行われました。

この研修会は、院内の現役看護師や臨床工学技士などが講師を務め、3年前から開催しています。参加した6人の女性は、スムーズな現場復帰に向けて真剣に、たんの吸引や採血、酸素療法などの実習に取り組みました。参加者の復職と市民病院での今後の活躍が期待されます。



## しまだトピックス

### 「エイジレス章」に輝く



年齢にとらわれず、自由に生き生きとした生活を送る人や団体をたたえる内閣府「エイジレス章」が発表され、もろた諸田サヨ（川根町拔里）さんが県内で唯一選ばれました。

お年寄りに手作り惣菜そうざいを届けたり、話し相手になったりする活動を17年以上続けている諸田さん。大井川鉄道「拔里駅」では「サヨばあちゃんの休憩所」という看板を掲げ、市外の人たちとの交流を深め、地域を活気づけています。